

(2) 二次検査

福島県立医科大学においては、平成 25 年 6 月から検査体制の拡充を図り、二次検査の促進に努めた結果、二次検査対象者 1,559 名のうち 73.6%の受診があり、そのうち 78.1%の方が二次検査を終了している。※⁵

また、福島県立医科大学以外にも、7 月下旬から郡山市及びいわき市の 2 か所の検査実施機関において、それぞれ二次検査を実施している。

なお、平成 25 年 11 月からは、県外検査実施機関においても二次検査を行う予定としている。

進捗状況

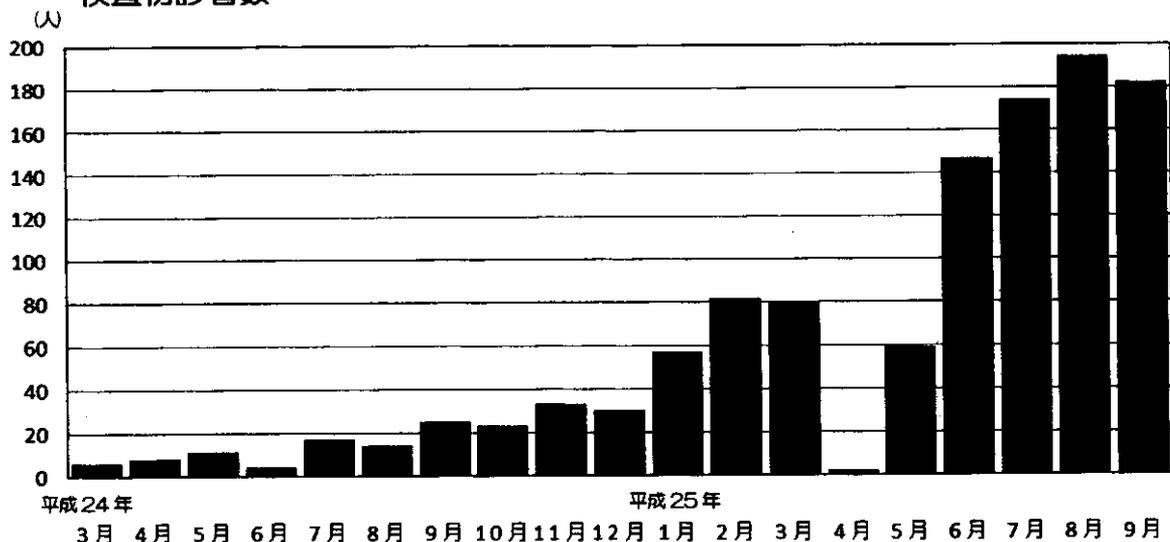
平成25年9月30日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人) 受診率 (%) イ (イ/ア)	確定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果確定数(人)			
				次回検査		通常診療等	
				A1 エ (エ/ウ)	A2 オ (オ/ウ)	カ (カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ (キ/カ)
平成23年度 実施市町村 計	216	188 (87.0)	176 (93.6)	11 (6.3)	39 (22.2)	126 (71.6)	85 (67.5)
平成24年度 実施市町村 計	971	839 (86.4)	698 (83.2)	44 (6.3)	190 (27.2)	464 (66.5)	189 (40.7)
平成25年度 実施市町村 計	372	121 (32.5)	23 (19.0)	0 (0.0)	11 (47.8)	12 (52.2)	3 (25.0)
合計	1,559	1,148 (73.6)	897 (78.1)	55 (6.1)	240 (26.8)	602 (67.1)	277 (46.0)

※⁵ 市町村別実施状況は資料 5 のとおり。

- 早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施。
- 次回検査 (A1、A2) は一次検査基準の範囲内であることが確認された方 (甲状腺に疾病のある方を含む)。
- 通常診療等は概ね 6 ヶ月後又は 1 年後に経過観察 (保険診療) する方及び A2 基準値を超える等の方。

検査初診者数



県民健康管理調査「甲状腺検査」の実施状況について

1 進捗状況及び結果概要

(1) 一次検査

平成 25 年度の検査は、平成 25 年 4 月 22 日から開始し、34 市町村の対象者(約 158 千人)について検査を実施している。また、これまでの検査対象市町村の未受診者についても、改めて県外や他市町村での検査実施を記載したお知らせやホームページ上での検査案内などにより受診勧奨を行い、当該市町村の対象年度が終了しても受診者数は増加しており、受診率は 82.4%となっている。※¹

また、平成 24 年 11 月 1 日からは、福島県外の検査実施機関においても甲状腺検査を実施している。※²

なお、受診者 238,785 名のうち、94.5%の受診者については検査結果が確定し、結果通知を発送している。※^{3,4}

進捗状況

平成25年9月30日現在(8月23日検査分まで結果確定)

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)			
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))			
					A		二次検査対象者	
					A1 エ(エ/ウ)	A2 オ(オ/ウ)	B カ(カ/ウ)	C キ(キ/ウ)
平成23年度 実施市町村 計	47,766	41,493 (86.9)	1,923	41,339 (99.6)	26,187 (63.3)	14,936 (36.1)	216 (0.5)	0 (0.0)
平成24年度 実施市町村 計	163,264	138,865 (85.1)	3,688	136,936 (98.6)	74,920 (54.7)	61,045 (44.6)	970 (0.7)	1 (0.0)
平成25年度 実施市町村 計	78,930	58,427 (74.0)	0	47,262 (80.9)	20,418 (43.2)	26,472 (56.0)	372 (0.8)	0 (0.0)
合計	289,960	238,785 (82.4)	5,611	225,537 (94.5)	121,525 (53.9)	102,453 (45.4)	1,558 (0.7)	1 (0.0)

結節・嚢胞の人数・割合

平成25年9月30日現在(8月23日検査分まで結果確定)

	結果確定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合)			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
平成23年度 実施市町村 計	41,339	214 (0.5)	227 (0.5)	1 (0.0)	14,859 (35.9)
平成24年度 実施市町村 計	136,936	956 (0.7)	701 (0.5)	9 (0.0)	61,158 (44.7)
平成25年度 実施市町村 計	47,262	371 (0.8)	241 (0.5)	1 (0.0)	26,566 (56.2)
合計	225,537	1,541 (0.7)	1,169 (0.5)	11 (0.0)	102,583 (45.5)

※¹市町村別受診状況は、資料 1 のとおり。

※²本県以外の都道府県別受診状況は、資料 2 のとおり。

※³市町村別結果状況は、資料 3 のとおり。

※⁴検査結果確定者の年齢と性別の分布等は資料 4 のとおり。

●小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。

2 穿刺吸引細胞診等結果概要

(1) 細胞診結果 (平成 25 年 9 月 30 日現在)

ア 平成 23 年度実施対象市町村

- ・悪性ないし悪性疑い 14 例 (手術 11 例：良性結節 1 例、乳頭癌 10 例)
- ・男性：女性 5 例：9 例
- ・平均年齢 17.2±2.0 歳 (13-20 歳、震災当時 15.6±2.0 歳 11-18 歳)
- ・平均腫瘍径 14.7±6.7 mm (6.0-33.0 mm)

イ 平成 24 年度実施対象市町村

- ・悪性ないし悪性疑い 44 例 (手術 16 例：乳頭癌 16 例)
- ・男性：女性 19 例：25 例
- ・平均年齢 16.7±2.8 歳 (8-21 歳、震災当時 14.6±2.7 歳 6-18 歳)
- ・平均腫瘍径 14.6±8.6 mm (5.2-40.5 mm)

ウ 平成 25 年度実施対象市町村

- ・悪性ないし悪性疑い 1 例 (手術実施なし)
- ・男性：女性 1 例 (男性)
- ・年齢 13 歳 (13 歳、震災当時 11 歳)
- ・腫瘍径 30.3 mm (30.3 mm)

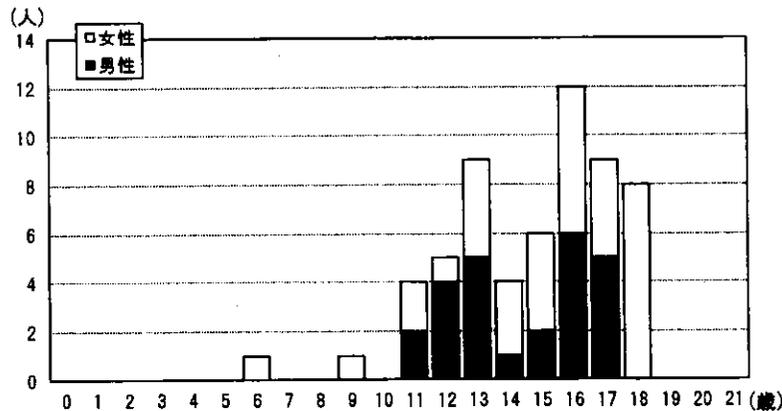
平成 23-25 年度合計

- ・悪性ないし悪性疑い 59 例 (手術 27 例：良性結節 1 例、乳頭癌 26 例)
- ・男性：女性 25 例：34 例
- ・平均年齢 16.8±2.6 歳 (8-21 歳、震災当時 14.8±2.6 歳 6-18 歳)
- ・平均腫瘍径 14.9±8.3 mm (5.2-40.5 mm)

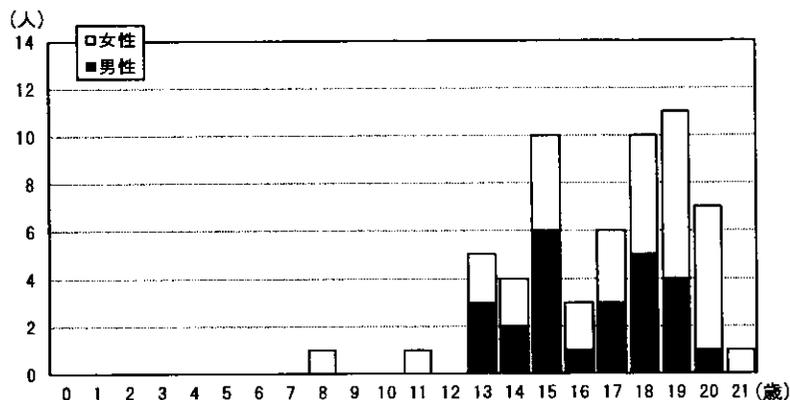
(2) 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった 59 例の年齢、性分布

(平成 25 年 9 月 30 日現在、手術後良性結節と確認された 1 例を含む)

ア 平成 23 年 3 月 11 日時点の年齢による分布表



イ 二次検査時点の年齢による分布表



(3) 細胞診等による悪性ないし悪性疑いの59例の基本調査結果との関係

基本調査問診票を提出した方は21人(35.6%)、うち1mSv未満の方が12人(57.1%)となっている。今後も、引き続き問診票の意義や重要性を説明し、提出していただくよう働きかけていく。

基本調査提出者の実効線量推計内訳

(人)

実効線量 (mSv)	男女別	震災時年齢(歳)				合計
		0~5	6~10	11~15	16~18	
~0.5未満	男性	0	0	0	1	1
	女性	0	0	1	2	3
~1.0未満	男性	0	0	3	0	3
	女性	0	1	0	4	5
~1.5未満	男性	0	0	2	1	3
	女性	0	0	3	1	4
~2.0未満	男性	0	0	1	0	1
	女性	0	0	1	0	1
合計	男性	0	0	6	2	8
	女性	0	1	5	7	13

(4) 血液検査及び尿中ヨウ素(平成25年9月30日現在)

ア 悪性ないし悪性疑い59例の血液データ

	FT4*1 (ng/dL)	FT3*2 (pg/mL)	TSH*3 (μ IU/mL)	Tg*4 (ng/mL)	TgAb*5 (IU/mL)	TPOAb*6 (IU/mL)
基準値	0.8~1.9	2.2~4.1*7	0.4~4.0	32.7以下	28.0未満	16.0未満
平均 \pm SD	1.2 \pm 0.2	3.4 \pm 0.5	1.3 \pm 0.7	49.0 \pm 103.3		
異常値の割合(%)	0	0	3.4	37.3	23.7	13.6

イ 悪性ないし悪性疑いを除いた二次検査受診者1,087例の血液データ

	FT4 (ng/dL)	FT3 (pg/mL)	TSH (μ IU/mL)	Tg (ng/mL)	TgAb (IU/mL)	TPOAb (IU/mL)
基準値	0.8~1.9	2.2~4.1	0.4~4.0	32.7以下	28.0未満	16.0未満
平均 \pm SD	1.3 \pm 0.3	3.7 \pm 1.0	2.1 \pm 16.2	34.5 \pm 202.5		
異常値の割合(%)	1.4	1.1	6.2	17.1	12.3	10.1

ウ 尿中ヨウ素(μ g/day)

	悪性ないし悪性疑い59例	その他1,085例
最小値	61	28
25%値	148	120
中央値	249	188
75%値	382	348
最大値	6,020	27,100

- ※1 FT4・・・ヨードの数が4つの甲状腺ホルモン。バセドウ病では高値、橋本病では低値。
- ※2 FT3・・・ヨードの数が3つの甲状腺ホルモン。バセドウ病では高値、橋本病では低値。
- ※3 TSH・・・脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。橋本病では高値、バセドウ病では低値。
- ※4 Tg(サイログロブリン)・・・甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。甲状腺が破壊されたり、腫瘍がTgを産生していたりする場合に高値。
- ※5 TgAb・・・サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。
- ※6 TPOAb・・・ペルオキシダーゼという酵素に対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。
- ※7 FT3に関しては、年齢による補正がある。

(5) 市町村別二次検査結果 (平成25年9月30日現在)

平成23年度市町村別検査結果 (国が指定した避難区域等の13市町村)

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査率 (%) 1/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い例数(人) ※1 ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
川俣町	2,236	8	0.4	8	2	0.09
浪江町	3,222	25	0.8	23	1	0.03
飯舘村	941	6	0.6	6	0	0.00
南相馬市	10,638	52	0.5	48	2	0.02
伊達市	10,636	50	0.5	45	2	0.02
田村市	6,368	33	0.5	26	3	0.05
広野町	808	4	0.5	3	0	0.00
楢葉町	1,103	6	0.5	4	0	0.00
富岡町	2,204	11	0.5	9	1	0.05
川内村	272	4	1.5	4	1	0.37
大熊町	1,929	13	0.7	9	1	0.05
双葉町	922	3	0.3	2	0	0.00
葛尾村	180	1	0.6	1	0	0.00
その他※2	34	0	0.0	0	0	0.00
合計	41,493	216	0.5	188	13	0.03

※1 細胞診結果において悪性疑いで手術後良性であった1例は含まない。

※2 国が指定した避難区域等の13市町村以外で、学校等において甲状腺検査を受けた人数。

平成24年度市町村別検査結果 (いわき市は久之浜等一部の地区のみ)

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査率 (%) 1/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い例数(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
福島市	47,030	275	0.6	253	12	0.03
二本松市	8,709	53	0.6	47	5	0.06
本宮市	5,187	28	0.5	26	3	0.06
大玉村	1,359	7	0.5	7	2	0.15
郡山市	53,838	458	0.9	377	16	0.03
桑折町	1,806	12	0.7	10	0	0.00
国見町	1,372	15	1.1	13	0	0.00
天栄村	862	6	0.7	5	0	0.00
白河市	11,081	63	0.6	57	4	0.04
西郷村	3,627	30	0.8	24	1	0.03
泉崎村	1,153	5	0.4	5	0	0.00
三春町	2,500	16	0.6	13	1	0.04
いわき市	341	3	0.9	2	0	0.00
合計	138,865	971	0.7	839	44	0.03

平成25年度市町村別検査結果

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査率 (%) 1/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い例数(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
いわき市	40,480	263	0.6	65	1	0.00
須賀川市	10,391	54	0.5	27	0	0.00
相馬市	4,770	41	0.9	20	0	0.00
鏡石町	1,748	7	0.4	4	0	0.00
新地町	1,038	7	0.7	5	0	0.00
合計	58,427	372	0.6	121	1	0.00

3 本格検査の実施について

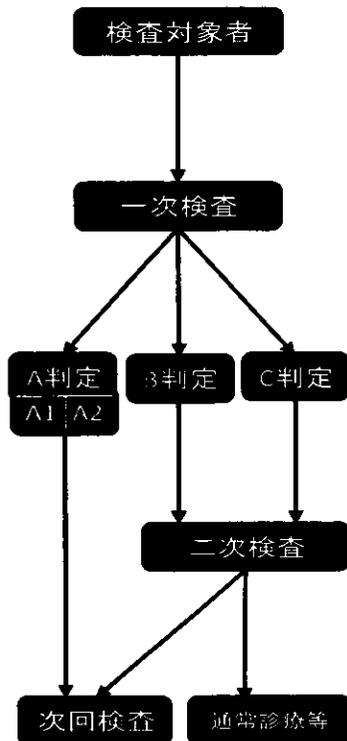
甲状腺検査は、平成23年10月から平成26年3月まで実施する「先行検査」に引き続き、平成26年4月から「本格検査」として実施する。

現在実施している「先行検査」の概要及び「本格検査」における主な変更点は次のとおり。

今後、対象者県民の将来にわたる健康維持・増進を図るため、県内及び県外検査実施機関、関連学会及び関係機関等の協力のもと、円滑かつ確実な検査を実施するための実施計画の策定などを行う。

(1) 甲状腺検査の概要

ア 先行検査の概要



検査対象者

東日本大震災当時、おおむね18歳以下の福島県民。
具体的には、平成4年4月2日～平成23年4月1日までに生まれた方。

一次検査

超音波診断装置を用いて、現在の甲状腺がどのような状態になっているか（主にはう胞及び結節の有無や大きさ）を確認する検査。

判定結果

A判定：(A1) 結節や嚢胞を認めなかったもの。
(A2) 5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞を認めたもの。
B判定：5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞を認めたもの。
なお、A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した場合、B判定としている。
C判定：甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの。

二次検査

一次検査の結果、詳細な検査が必要とされた方に、超音波検査、血液検査、尿検査及び必要に応じて穿刺吸引細胞診を行う検査。

(参考)

次回検査

平成26年4月以降、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに継続して検査（本格検査）を実施。

通常診療等

- ・経過観察として、概ね6か月後又は1年後に再診を行う。
- ・検査ないし診療（手術等）等を行う。

イ 本格検査実施に向けての変更点

(ア) 検査対象者

先行検査時の対象者に加え、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに出生した方に拡大し、合わせて概ね38万5千人を検査対象とする。

(イ) 実施期間

平成26年4月から平成28年3月までの2か年で対象者全員を検査する。

その後は20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに検査を実施し、長期にわたり検査を実施する。

(ウ) 実施機関

県内検査実施機関、県外検査実施機関及び福島県立医科大学が一次検査及び二次検査を実施する。

(エ) 一次検査実施体制

未就学児・学生・社会人は県内検査実施機関が主体で実施（検査体制が整うまでは、公共施設等における検査も併行実施）し、小中高生は各学校に出向いて出張検査を実施する。

県外居住者は県外検査実施機関が実施する。

(オ) 二次検査実施体制

二次検査の迅速化、受診者の利便性の向上を図るため、県内検査実施機関、県外検査実施機関及び福島県立医科大学において適切な検査に努める。

(2) 平成 26 年度及び 27 年度検査スケジュール (検討案)

市町村別検査年度 (先行検査)



	平成 23 年度 (13 市町村)
	平成 24 年度 (12 市町村)
	平成 25 年度 (34 市町村)

市町村別検査年度 (本格検査)



	平成 26 年度 (25 市町村)
	平成 27 年度 (34 市町村)

4 甲状腺検査詳細情報の開示手続きの簡素化について

甲状腺検査に係る自己情報開示請求については、より簡易な手続きを検討してきたところであり、今後、以下の取扱いを行う。

- (1) 本人等の確認について、戸籍抄本等の提出を求めず、原則、福島県立医科大学から送付している検査のお知らせ又は検査結果通知のお知らせの写しをもって確認する。
- (2) 開示請求者と複数回行っていた手続きを、原則、1回の手続きで完了させる。
- (3) 提供に要する費用の負担は求めない。

詳しい内容については、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターホームページ (<http://fukushima-mimamori.jp/>) に掲載する。

資料1

市町村別一次検査受診状況

平成23年度 実施対象市町村（国が指定した避難区域等の13市町村）

平成25年9月30日現在

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		受診率 (%)	年齢階層別受診者数 (人)				1のうち県外 居住者数 (人)	県外居住者 受診率 (%)
		うち県外 受診	1/7		年齢階層別内訳 (%) ※1					
					0-5歳	6-10歳	11-15歳	16-18歳		
川俣町	2,403	2,236	33	93.1	561 95.7 25.1	623 98.6 27.9	691 96.0 30.9	361 77.6 16.1	61	2.7
浪江町	3,645	3,222	180	88.4	906 89.6 28.1	854 92.7 26.5	913 88.5 28.3	549 80.6 17.0	1,204	37.4
飯館村	1,090	941	14	86.3	249 89.6 26.5	268 89.0 28.6	264 87.1 28.1	160 76.9 17.0	71	7.5
南相馬市	12,530	10,638	838	84.9	3,151 85.8 29.6	3,002 87.9 28.2	2,904 88.1 27.3	1,581 73.8 14.9	3,445	32.4
伊達市	11,357	10,636	152	93.7	2,566 93.5 24.1	3,003 99.2 28.2	3,298 97.7 31.0	1,769 80.0 16.6	272	2.6
田村市	7,081	6,368	57	89.9	1,541 89.6 24.2	1,799 99.3 28.3	2,003 96.5 31.5	1,025 69.4 16.1	69	1.1
広野町	1,077	808	51	75.0	194 76.1 24.0	210 84.0 26.0	285 81.9 35.3	119 53.1 14.7	162	20.0
楢葉町	1,429	1,103	70	77.2	266 76.9 24.1	308 85.1 27.9	341 82.4 30.9	188 61.2 17.0	209	18.9
富岡町	2,940	2,204	223	75.0	576 75.0 26.1	612 83.4 27.8	680 76.7 30.9	336 61.0 15.2	638	28.9
川内村	357	272	17	76.2	68 75.6 25.0	89 89.9 32.7	69 77.5 25.4	46 58.2 16.9	58	21.3
大熊町	2,386	1,929	174	80.8	633 81.4 32.8	569 89.6 29.5	521 84.2 27.0	206 58.2 10.7	441	22.9
双葉町	1,204	922	111	76.6	282 76.8 30.6	237 80.1 25.7	269 80.3 29.2	134 65.0 14.5	474	51.4
葛尾村	233	180	3	77.3	43 76.8 23.9	53 85.5 29.4	57 85.1 31.7	27 56.3 15.0	15	8.3
その他※3	34	34	0	100.0	0 0.0 0.0	6 100.0 17.6	10 100.0 29.4	18 100.0 52.9	2	5.9
小計	47,766	41,493	1,923	86.9	11,036 87.1 26.6	11,633 92.7 28.0	12,305 90.7 29.7	6,519 72.7 15.7	7,121	17.2

※1 上段には受診者数を、中段には各年齢階層の対象者に対する進捗率を、下段には受診者イの階層別割合を記載。

※2 県内検査、県外検査実施機関又は県外での出張検査において甲状腺検査を受けた県外居住者の人数。

※3 国が指定した避難区域等の13市町村以外で、学校等において甲状腺検査を受けた人数。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 年齢は平成23年3月11日時点のもの。

【第13回 福島県「県民健康管理調査」検討委員会資料】

平成24年度 実施対象市町村(いわき市は久之浜等一部の地区のみ)

平成25年9月30日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		受診率 (%) イ/ア	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%) ※1				(のうち県外 居住者数(人) ウ ※2	県外居住者 受診率(%) ウ/イ
		イ	うち 県外受診		0-5歳	6-10歳	11-15歳	16-18歳		
福島市	53,852	47,030	1,183	87.3	13,143 85.8 27.9 2,483	13,602 96.0 28.9 2,586	13,684 91.4 29.1 2,616	6,601 70.2 14.0 1,024	2,659	5.7
二本松市	10,243	8,709	155	85.0	89.2 28.5 1,523	97.5 29.7 1,559	89.3 30.0 1,489	54.6 11.8 616	220	2.5
本宮市	6,147	5,187	102	84.4	85.7 29.4 445	97.6 30.1 394	88.0 28.7 383	57.1 11.9 137	133	2.6
大玉村	1,620	1,359	17	83.9	91.2 32.7 15,724	99.0 29.0 16,005	89.1 28.2 15,970	45.1 10.1 6,139	24	1.8
郡山市	65,586	53,838	1,777	82.1	81.6 29.2 478	94.1 29.7 527	87.6 29.7 545	55.4 11.4 256	2,846	5.3
桑折町	2,058	1,806	29	87.8	90.7 26.5 343	97.2 29.2 388	92.1 30.2 439	64.5 14.2 202	32	1.8
国見町	1,557	1,372	27	88.1	90.5 25.0 287	97.7 28.3 283	93.0 32.0 217	65.4 14.7 75	20	1.5
天栄村	1,070	862	12	80.6	93.8 33.3 3,054	98.6 32.8 3,202	77.5 25.2 3,466	38.1 8.7 1,359	21	2.4
白河市	12,590	11,081	267	88.0	90.6 27.6 1,088	97.5 28.9 1,068	92.4 31.3 1,028	62.3 12.3 443	272	2.5
西郷村	4,021	3,627	78	90.2	94.4 30.0 346	98.1 29.4 344	93.5 28.3 307	65.1 12.2 156	82	2.3
泉崎村	1,299	1,153	13	88.8	95.3 30.0 683	97.5 29.8 718	91.1 26.6 732	63.4 13.5 367	15	1.3
三春町	2,879	2,500	28	86.8	91.1 27.3 32	96.9 28.7 179	89.5 29.3 130	64.4 14.7 0	48	1.9
いわき市	342	341	0	99.7	100.0 9.4 39,629	99.4 52.5 40,855	100.0 38.1 41,006	0.0 0.0 17,375	0	0.0
小計	163,264	138,865	3,688	85.1	85.2 28.5	95.7 29.4	89.7 29.5	61.4 12.5	6,372	4.6

● 対象者のうち、在籍している学校で検査を受診した方などについては一部、学校等の所在市町村に含め、集計している。そのような対象者については、先行検査終了後に震災時市町村に再集計する。

平成25年度 実施対象市町村

平成25年9月30日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		受診率 (%) イ/ア	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%) ※1				(のうち県外 居住者数(人) ウ ※2	県外居住者 受診率(%) ウ/イ
		イ	うち 県外受診		0-5歳	6-10歳	11-15歳	16-18歳		
いわき市	53,367 61,834	40,480	0	75.9 65.5	10,375 60.3 25.6 3,294	14,804 93.0 36.6 3,850	11,814 67.1 29.2 2,571	3,487 31.4 8.6 676	627	1.5
須賀川市	14,828	10,391	0	70.1	76.2 31.7 1,562	95.3 37.1 1,600	65.0 24.7 1,234	27.0 6.5 374	81	0.8
相馬市	6,798	4,770	0	70.2	78.9 32.7 560	90.3 33.5 660	67.0 25.9 416	31.1 7.8 112	171	3.6
鏡石町	2,508	1,748	0	69.7	76.0 32.0 317	95.1 37.8 373	61.8 23.8 276	27.7 6.4 72	17	1.0
新地町	1,429	1,038	0	72.6	81.3 30.5 16,108	94.9 35.9 21,287	67.3 26.6 16,311	30.5 6.9 4,721	25	2.4
小計	78,930 87,397	58,427	0	74.0 66.9	65.4 27.6	93.3 36.4	66.6 27.9	30.5 8.1	921	1.6
合計	289,960 298,427	238,785	5,611	82.4 80.0	66,773 79.7 28.0	73,775 94.5 30.9	69,622 83.1 29.2	28,615 54.2 12.0	14,414	6.0

資料2

都道府県別一次検査受診状況

平成25年9月30日現在

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
北海道	2	206	福井県	1	15	広島県	1	15
青森県	1	114	山梨県	1	43	山口県	1	18
岩手県	1	116	長野県	2	83	徳島県	1	3
宮城県	2	853	岐阜県	1	30	香川県	1	24
秋田県	1	142	静岡県	2	73	愛媛県	1	13
山形県	2	394	愛知県	2	109	高知県	1	9
茨城県	2	195	三重県	1	20	福岡県	2	52
栃木県	5	293	滋賀県	1	12	佐賀県	1	5
群馬県	1	126	京都府	2	59	長崎県	2	17
埼玉県	1	157	大阪府	5	134	熊本県	1	19
千葉県	3	120	兵庫県	2	90	大分県	1	29
東京都	9	933	奈良県	1	16	宮崎県	1	28
神奈川県	2	394	和歌山県	1	10	鹿児島県	1	24
新潟県	1	423	鳥取県	1	12	沖縄県	1	73
富山県	1	15	島根県	1	10			
石川県	1	34	岡山県	3	51			
						合計	78	5,611

- 受診者数は県外検査実施機関及び福島県立医科大学から出向いて実施した検査を受診した人数。
- 福島県立医科大学から出向いて検査を行ったのは、新潟県（2回）・山形県（2回）・神奈川県（1回）。

資料3

市町村別一次検査結果

平成23年度 実施対象市町村検査結果（国が指定した避難区域等の13市町村） 平成25年9月30日現在

	受診者(人) P	結果確定数(人) I	判定区分別人数(人)				結節(人)		嚢胞(人)		
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		嚢胞の割合(%)		
			連携状況 I/P (%)	A		B	C	5.1mm以上	5.0mm以下	20.1mm以上	20.0mm以下
				A1	A2						
川 俣 町	2,236	2,233	1,530	695	8	0	8	17	0	683	
		99.9	68.5	31.1	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	30.6	
浪 江 町	3,222	3,207	2,098	1,084	25	0	25	41	0	1,069	
		99.5	65.4	33.8	0.8	0.0	0.8	1.3	0.0	33.3	
飯 館 村	941	940	692	242	6	0	6	15	0	231	
		99.9	73.6	25.7	0.6	0.0	0.6	1.6	0.0	24.6	
南 相 馬 市	10,638	10,598	6,710	3,836	52	0	52	86	0	3,794	
		99.6	63.3	36.2	0.5	0.0	0.5	0.8	0.0	35.8	
伊 達 市	10,636	10,623	6,765	3,808	50	0	48	30	1	3,809	
		99.9	63.7	35.8	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	35.9	
田 村 市	6,368	6,365	4,027	2,305	33	0	33	11	0	2,311	
		100.0	63.3	36.2	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	36.3	
広 野 町	808	797	500	293	4	0	4	3	0	293	
		98.6	62.7	36.8	0.5	0.0	0.5	0.4	0.0	36.8	
楡 葉 町	1,103	1,090	623	461	6	0	6	4	0	463	
		98.8	57.2	42.3	0.6	0.0	0.6	0.4	0.0	42.5	
富 岡 町	2,204	2,184	1,293	880	11	0	11	6	0	879	
		99.1	59.2	40.3	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	40.2	
川 内 村	272	267	149	114	4	0	4	1	0	114	
		98.2	55.8	42.7	1.5	0.0	1.5	0.4	0.0	42.7	
大 熊 町	1,929	1,917	1,117	787	13	0	13	7	0	784	
		99.4	58.3	41.1	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	40.9	
双 葉 町	922	904	552	349	3	0	3	3	0	348	
		98.0	61.1	38.6	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	38.5	
葛 尾 村	180	180	114	65	1	0	1	3	0	64	
		100.0	63.3	36.1	0.6	0.0	0.6	1.7	0.0	35.6	
その他※1	34	34	17	17	0	0	0	0	0	17	
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
小計	41,493	41,339	26,187	14,936	216	0	214	227	1	14,859	
		99.6	63.3	36.1	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	35.9	

※1 国が指定した避難区域等 13 市町村以外で、学校等において検査を受けた人数。

● 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。

平成24年度 実施対象市町村検査結果（いわき市は久之浜等一部の地区のみ）

平成25年9月30日現在

	受診者(人) 7	結果確定数(人) 1	判定区分別人数(人)				結節(人)		嚢胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		嚢胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm以上	5.0mm以下	20.1mm以上	20.0mm以下
			A1	A2						
福島市	47,030	46,896	26,780	19,841	275	0	268	190	3	19,857
		99.7	57.1	42.3	0.6	0.0	0.6	0.4	0.0	42.3
二本松市	8,709	8,687	5,110	3,524	52	1	52	42	1	3,525
		99.7	58.8	40.6	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	40.6
本宮市	5,187	5,170	2,929	2,213	28	0	26	24	1	2,217
		99.7	56.7	42.8	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	42.9
大玉村	1,359	1,358	810	541	7	0	7	8	0	541
		99.9	59.6	39.8	0.5	0.0	0.5	0.6	0.0	39.8
郡山市	53,838	52,165	26,841	24,866	458	0	454	314	3	24,958
		96.9	51.5	47.7	0.9	0.0	0.9	0.6	0.0	47.8
桑折町	1,806	1,805	995	798	12	0	12	9	0	799
		99.9	55.1	44.2	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	44.3
国見町	1,372	1,370	727	628	15	0	14	8	1	632
		99.9	53.1	45.8	1.1	0.0	1.0	0.6	0.1	46.1
天栄村	862	860	529	325	6	0	6	3	0	329
		99.8	61.5	37.8	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	38.3
白河市	11,081	11,039	6,266	4,710	63	0	63	58	0	4,704
		99.6	56.8	42.7	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	42.6
西郷村	3,627	3,623	2,102	1,491	30	0	30	20	0	1,492
		99.9	58.0	41.2	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	41.2
泉崎村	1,153	1,150	520	625	5	0	5	10	0	622
		99.7	45.2	54.3	0.4	0.0	0.4	0.9	0.0	54.1
三番町	2,500	2,472	1,171	1,285	16	0	16	14	0	1,284
		98.9	47.4	52.0	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	51.9
いわき市	341	341	140	198	3	0	3	1	0	198
		100.0	41.1	58.1	0.9	0.0	0.9	0.3	0.0	58.1
小計	138,865	136,936	74,920	61,045	970	1	956	701	9	61,158
		98.6	54.7	44.6	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	44.7

- 対象者のうち、在籍している学校で検査を受診した方などについては一部、学校等の所在市町村に含め、集計している。そのような対象者については、先行検査終了後に震災時市町村に再集計する。

【第13回 福島県「県民健康管理調査」検討委員会資料】

平成25年度 実施対象市町村検査結果

平成25年9月30日現在

	受診者(人) ア	結果確定数(人) イ	判定区分別人数(人) 判定区分別割合(%)				結節(人)		嚢胞(人)	
		進捗状況 1/ア (%)	A		B	C	結節の割合(%)		嚢胞の割合(%)	
			A1	A2			5.1mm以上	5.0mm以下	20.1mm以上	20.0mm以下
いわき市	40,480	31,944	13,536	18,145	263	0	262	163	1	18,212
		78.9	42.4	56.8	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	57.0
須賀川市	10,391	7,830	3,377	4,399	54	0	54	26	0	4,412
		75.4	43.1	56.2	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	56.3
相馬市	4,770	4,758	2,252	2,465	41	0	41	43	0	2,474
		99.7	47.3	51.8	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	52.0
鏡石町	1,748	1,692	787	898	7	0	7	5	0	899
		96.8	46.5	53.1	0.4	0.0	0.4	0.3	0.0	53.1
新地町	1,038	1,038	466	565	7	0	7	4	0	569
		100.0	44.9	54.4	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	54.8
小計	58,427	47,262	20,418	26,472	372	0	371	241	1	26,566
		80.9	43.2	56.0	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	56.2
合計	238,785	225,537	121,525	102,453	1,558	1	1,541	1,169	11	102,583
		94.5	53.9	45.4	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	45.5

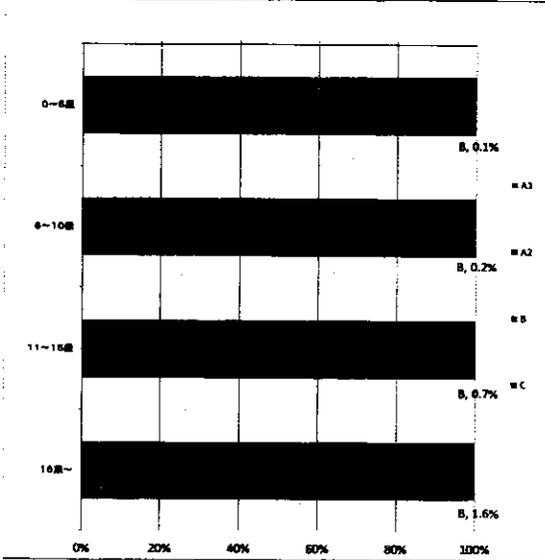
資料4

1 検査結果確定者の年齢及び性別

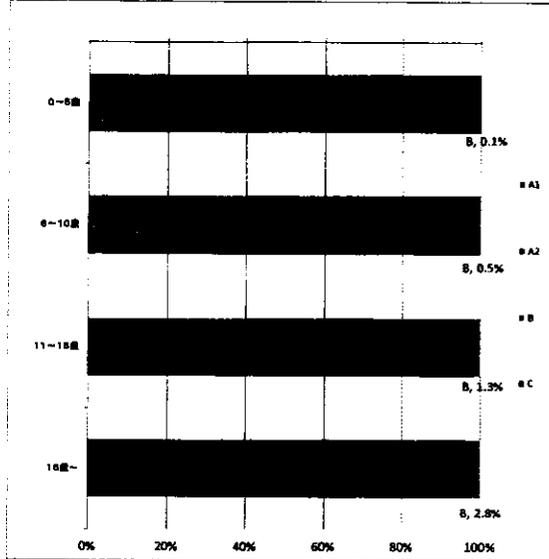
(単位 人)
平成25年9月30日現在(8月23日検査分まで結果確定)

判定・性別 年齢区分	A						B			C			合計		
	A1		計	A2		計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
0～5歳	23,639	21,729		45,368	8,095										
6～10歳	17,393	15,027	32,420	18,914	19,268	38,182	85	159	244	0	0	0	36,392	34,454	70,846
11～15歳	16,195	13,874	30,069	16,910	18,442	35,352	226	441	667	0	0	0	33,331	32,757	66,088
16歳～	6,787	6,881	13,668	5,595	6,753	12,348	198	387	585	0	1	1	12,580	14,022	26,602
合計	64,014	57,511	121,525	49,514	52,939	102,453	536	1,022	1,558	0	1	1	114,064	111,473	225,537

年齢階層別判定区分の分布【男性】



年齢階層別判定区分の分布【女性】



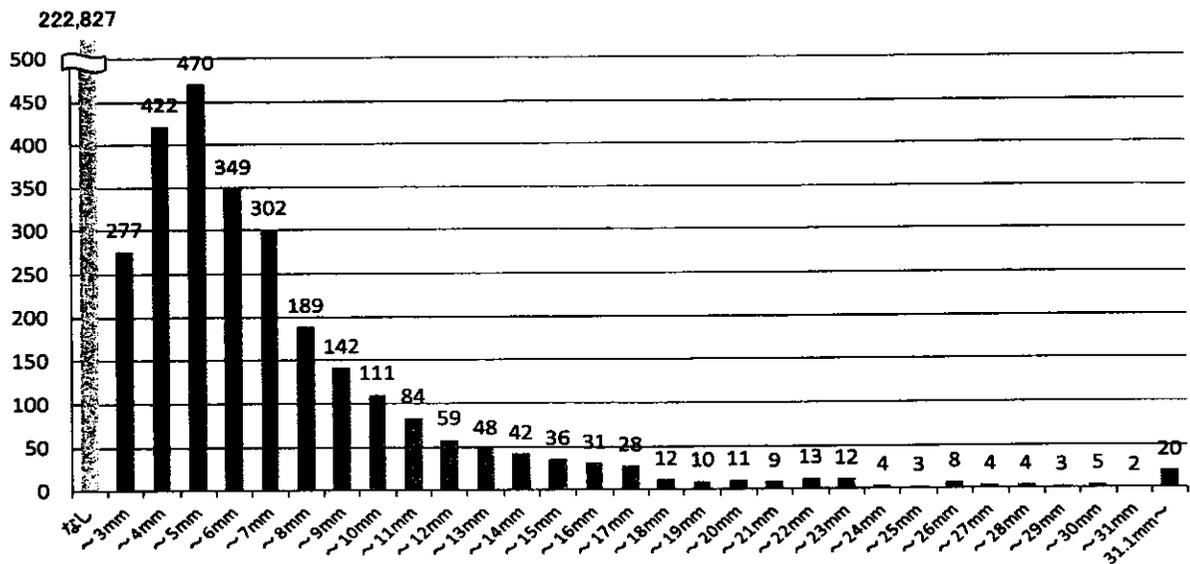
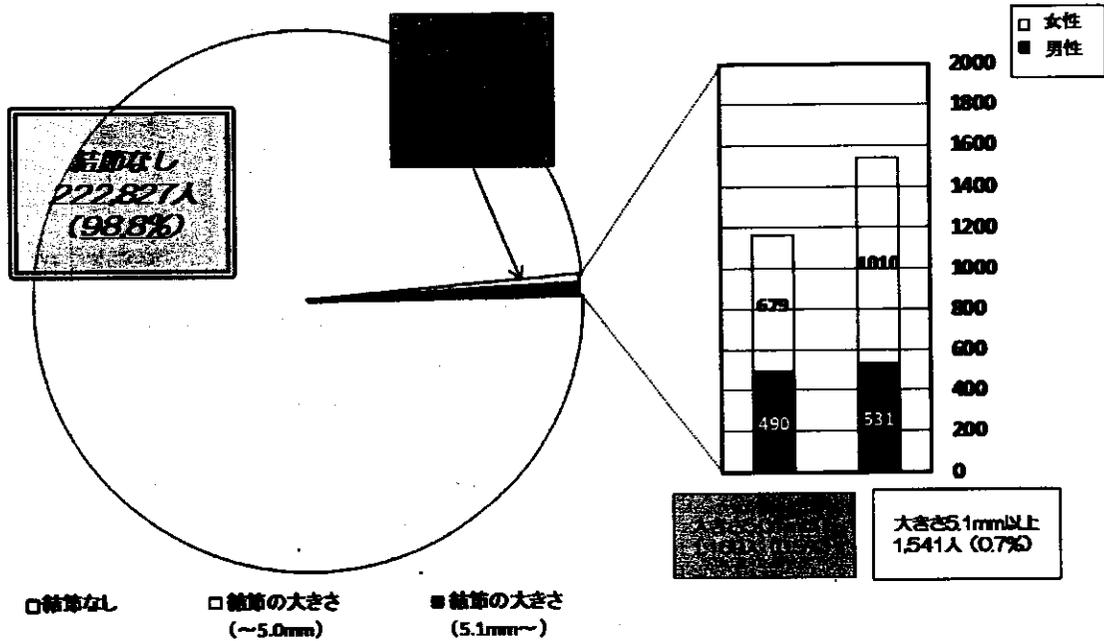
- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 年齢は平成23年3月11日時点のもの。

2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

平成25年9月30日現在(8月23日検査分まで結果確定)

結節の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男	女		
なし	222,827	113,043	A1	98.8%
5.1~10.0mm	1,093	394	B	0.7%
10.1~15.0mm	269	81		
15.1~20.0mm	92	28		
20.1~25.0mm	41	13		
25.1mm~	46	15		
計	225,537	114,064		

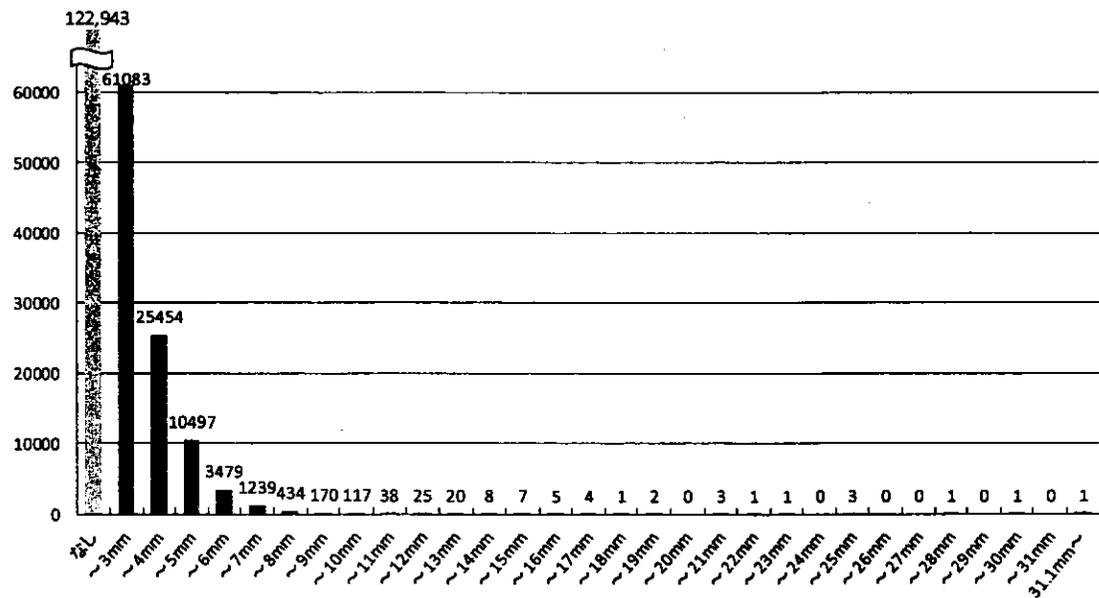
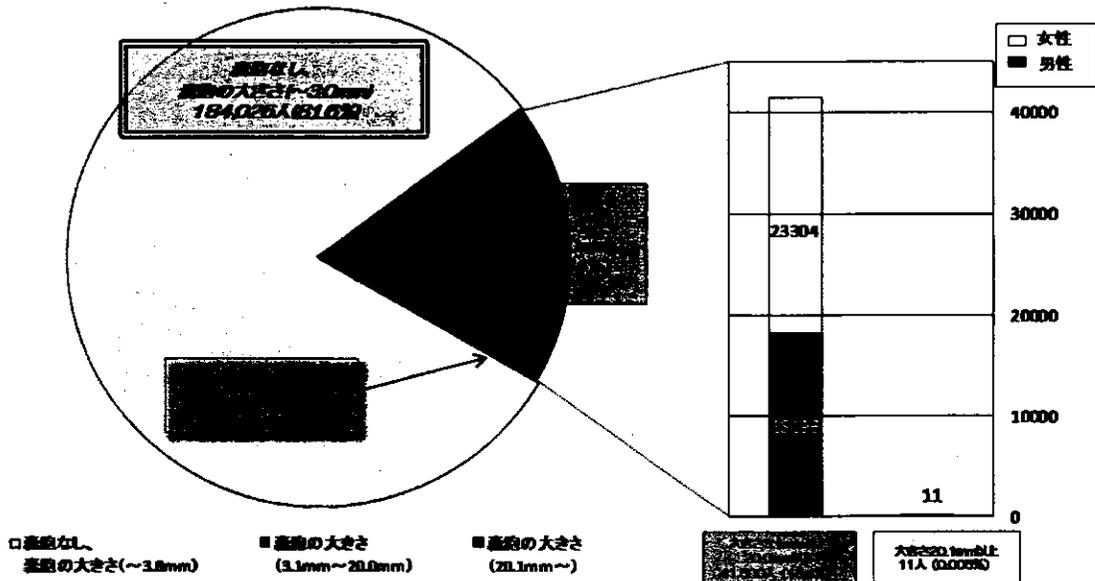


3 嚢胞の有無及び大きさ

(単位 人)

平成25年9月30日現在(8月23日検査分まで結果確定)

嚢胞の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男	女		
なし	122,943	64,569	A1(64.5%)	81.6%
20.1~25.0mm	8	1	B(0.005%)	0.005%
25.1mm~	3	1		
計	225,537	114,064	111,473	



資料5

市町村別二次検査実施状況

進捗状況 平成25年9月30日現在

市町村名	一次検査 受診者数 (人)	二次検査受診者数(人)						結果確定数(人)					二次検査 受診者数 (のべ人数)	
		計		9のうち 6~10歳		9のうち 11~15歳		計		次期検査		通常診察等		
		1	2	1	2	1	2	1	2	A1	A2	1		2
		1/7%	1/7%	1/9%	1/9%	1/9%	1/9%	1/9%	1/9%	1/9%	1/9%	1/9%		1/9%

平成23年度実施対象市町村（国が指定した避難区域等の13市町村）

川俣町	2,236	8	8	0	1	3	4	7	1	0	6	5	24
浪江町	3,222	25	23	1	3	7	12	20	1	4	15	10	53
飯館村	941	6	6	0	2	1	3	6	0	3	3	3	16
南相馬市	10,638	52	48	6	5	16	21	47	4	10	33	19	111
伊達市	10,636	50	45	0	3	16	26	45	4	8	33	24	119
田村市	6,368	33	26	1	3	14	8	23	0	3	20	12	63
広野町	808	4	3	0	1	0	2	3	1	2	0	0	6
楢葉町	1,103	5	4	1	0	0	3	4	0	2	2	1	9
富岡町	2,204	11	9	0	1	3	5	7	0	1	6	6	21
川内村	272	4	4	0	1	0	3	4	0	1	3	2	11
大熊町	1,929	13	9	0	0	5	4	7	0	4	3	1	18
双葉町	922	3	2	0	0	1	1	2	0	0	2	2	4
葛尾村	180	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2
その他※1	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	41,493	216	188	2	21	66	92	176	11	39	126	85	457

平成24年度県内実施対象市町村（いわき市は久之浜等一部の地区のみ）

福島市	47,030	275	253	5	27	101	120	236	11	56	169	84	599
二本松市	8,709	53	47	0	4	25	18	40	1	5	34	20	112
本宮市	5,187	28	26	1	2	14	9	24	0	7	17	7	60
大玉村	1,359	7	7	0	0	4	3	6	0	1	5	3	17
磐山市	53,838	458	377	14	61	188	134	272	17	93	162	52	719
桑折町	1,806	12	10	1	2	3	4	9	0	2	7	2	21
国見町	1,372	15	13	2	2	2	7	12	1	1	10	4	31
天栄村	862	6	5	1	2	1	1	5	1	2	2	0	13
白河市	11,081	63	57	2	10	28	17	54	6	12	36	13	157
西郷村	3,627	30	24	1	5	9	9	23	2	7	14	3	55
泉崎村	1,153	5	5	0	2	0	3	4	1	2	1	0	12
三善町	2,500	16	13	0	0	8	5	11	3	2	6	1	26
いわき市	341	3	2	0	0	2	0	2	1	0	1	0	4
小計	138,865	971	839	27	117	365	330	698	44	190	464	189	1,826

平成25年度県内実施対象市町村

いわき市	40,480	263	65	6	29	28	2	20	0	8	12	3	81
須賀川市	10,391	54	27	3	14	10	0	2	0	2	0	0	30
相馬市	4,770	41	20	0	8	8	4	1	0	1	0	0	20
鏡石町	1,748	7	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	4
新地町	1,038	7	5	0	3	2	0	0	0	0	0	0	6
小計	58,427	372	121	9	57	49	6	23	0	11	12	3	141

合計	238,785	1,559	1,148	45	195	480	428	897	55	240	602	277	2,424
		0.7	0.5	0.02	0.08	0.2	0.18	0.37	0.02	0.1	0.25	0.11	0.01

- ※1 国が指定した避難区域等の13市町村以外で、学校等で検査を受けた人数。
- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
 - 年齢は平成23年3月11日時点のもの。
 - 対象者のうち、在籍している学校で検査を受診した方などについては一部、学校等の所在市町村に含め、集計している。そのような対象者については、先行検査終了後に震災時市町村に再集計する。

福島県「県民健康管理調査」検討委員会
第1回甲状腺検査評価部会

西美和 部会員 提供資料

日本人高校生、大学生・院生の甲状腺がん発生頻度

福島県民調査のような対象者全員の甲状腺超音波検査は実施されていない
 ⇒ 全員に現在の精巧な超音波検査すれば、甲状腺がんもっと多く発見された？

発表者	岡山大	千葉大	慶応大																			
対象	新入学生	大学生・院生	都内の女子高校生																			
年度人数 (甲状腺がん 人数、全員乳 頭がん)	H24年度 男: 1,320人 (1人) 女: 987人 (2人)	H12年度 9,988人 (3人)	S63~H15年 在学3年間 2,869人 (1年生の1人)																			
対象者 年齢	18±1.3歳	20歳前後	16~18歳																			
100万人 当たり	男女: 約1,300人 男: 約750人 女: 約2,000人	男女: 約300人	女: 約350人																			
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 10%;">歳</td> <td colspan="2" style="width: 20%;">日本</td> <td colspan="2" style="width: 20%;">米国</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">男</td> <td style="width: 10%;">女</td> <td style="width: 10%;">男</td> <td style="width: 10%;">女</td> </tr> <tr> <td>15-19</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>20-24</td> <td>10</td> <td>31</td> <td>14</td> <td>90</td> </tr> </table>				歳	日本		米国		男	女	男	女	15-19	5	7	8	38	20-24	10	31	14	90
歳	日本		米国																			
	男	女	男	女																		
15-19	5	7	8	38																		
20-24	10	31	14	90																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 診断・報告された甲状腺がんの発生頻度 100万人当たり </div>																						

高校生、大学生・院生の甲状腺がん発生頻度

岡山大学 大学生

- 1) 小倉 俊郎、他. 大学新入生健康診断における甲状腺疾患の検討.
第13回日本内分泌学会中国支部学術総会. 米子、平成25年3月2日.
(総会発表後に、別の女性一人に甲状腺乳頭がんが確認されたので、女性は2人に甲状腺乳頭がんが確認された：小倉先生との私信)
- 2) 小倉 俊郎、他. 若年者の甲状腺疾患：大学新入生健康診断によるスクリーニング. 第56回日本甲状腺学会. 和歌山、H25年11月14-16日

H24年度の岡山大学新入生男性1,320人、女性987人(平均年齢18.3±1.3歳)の健康診断(問診、診察、触診)で甲状腺腫をスクリーニングし、TSH、FT4、TRAbなどと甲状腺超音波検査が必要とされ実施された学生の中で、男性1人、女性2人に、手術で確認された甲状腺乳頭がんが見つかった。

⇒ 検査人数は少なく1年間のみデータであるが、18歳の100万人あたりに換算すると男性約750人、女性約2,000人、男女合計で100万人あたり約1300人

- ただ、H24年度の1年間だけのデータであるので、少なくとも数年間のデータが必要である。ほとんどの年度は0人であり、3人発見される年度は稀(小倉先生との私信)
- 触診などでスクリーニングしているのので、全員に、現在のような精巧な超音波器械で検査していたら、甲状腺がんはさらに見つかった可能性は否定できない。

千葉大学 大学生・院生

鈴木 弘文、他. (千葉大学保健管理センター).

CAMPUS HEALTH 37(2): 127-132, 2001

今から13年前の2,000年度(H12年度)の大学生・院生の定期健康検査の受検者9,988人(受検率65.6%)に対して、触診により甲状腺腫を指摘された119人の内呼び出しに応じた87人(73.1%)に甲状腺超音波検査が実施された。4人(全員無症状)に手術で確認された甲状腺乳頭がんが見つかった。女性2人(20歳、22歳)、男性1人(23歳)で、一人は35歳男性留学生なので、日本人約1万人に3人となる。

⇒ 20歳前後の100万人あたり男女合計で約300人

- 今から 13 年前の検査で、その当時に比べたら現在の超音波器械は格段に精度が良くなっている。現在の精巧な超音波器械で検査していたら、もっと多く見つかった可能性がある。
- 触診により甲状腺腫を指摘された 119 人の内呼び出しに応じたのは、87 人 (73.1%) で 32 人 (約 25%) が応じていない。もし、呼び出しに応じなかった 32 人全員に甲状腺超音波検査が実施されておれば、もう 1 人位は甲状腺がんが見つかった可能性は否定できない。
- 9,988 人全員に、現在のような精巧な超音波器械で検査していたら、甲状腺がんはさらに見つかった可能性は否定できない。
- 受検者の男女比は記載なし。
- 男女比を 6:4 と仮定して計算すると、女性約 4,000 人中 2 人⇒100 万人当たり約 500 人、男性約 6,000 人中 1 人⇒100 万人当たり約 170 人

都内の女子高校生

辻岡 三南子、他。(慶應義塾大学保健管理センター)

慶應保健研究 22 (1) :19-22, 2004.

1,988 年 (S63 年) -2,003 年 (15 年) の入学から卒業までの定期健康診断で、2,869 人に甲状腺触診を行い、結節性甲状腺腫を 6 人に認めた。5 人が専門医療機関を受診し、1 人に手術で確認された甲状腺乳頭がん (高校 1 年生)、が見つかった。

⇒検査人数は少ないが、高校生時代 3 年間で、女子高校生 100 万人当たり約 350 人

- 今から 10~25 年前の触診によるスクリーニングであり、全員に、現在のような精巧な超音波器械で検査していたら、甲状腺がんはさらに見つかった可能性は否定できない。

診断され報告された甲状腺がんの発生頻度

日 本

Matsuda T, et al : Jpn J ClinOncol2011 ; 41 : 139-147.
Cancer Incidence and Incidence Rates in Japan in 2005: Based on Data from
12 Population-based Cancer Registries in the Monitoring of Cancer
Incidence in Japan (MCIJ) Project

米 国

National Cancer Institute, Surveillance Epidemiology and End Results
(SEER) Cancer Statistics Review 1975-2010 (Table 26.7)
http://seer.cancer.gov/csr/1975_2010/results_merged/sect_26_thyroid.pdf

上の2つの論文の日本、米国の数字は、甲状腺腫脹とか“しこり”などで、病院を受診し、精密検査で甲状腺がんと診断され報告された数字です。

H25年11月18日

広島赤十字・原爆病院 小児科 西 美和

